

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M232W405	看護教育学 (Science of Nursing Education)	専門教育科目 統合分野

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
選択	1	4	後	木・3, 4	脇 幸子 内線：5052 E-mail：syamasit@oita-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

看護教育学とは、看護学教育のあらゆる事象を教育学的研究対象とする学問である。教育は、「教える」「育てる」ということばから成り立っているように、教える側と教えられる側との、人と人の間の相互作用の中で行われるものである。

本科目では、高等教育の原点である”主体的学習”について、および、教育という相互作用の中で“成人学習者として看護を学ぶ”とはどのようなことなのかについて、各自の受けてきた教育（経験）を振り返り、看護学教育とは何かを考える。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 各自の受けてきた教育過程を振り返り、看護学教育の意味や意義を述べることができる。				○			
2. 自己の看護学教育の経験を振り返り、成人学習者としての自己の成長を述べるができる。							○
3. 教育実践を通して、看護学教育における教育的相互関係の重要性について述べるができる。		○					
4. これまでの学習経験を基に、教育への関心をさらに深め、看護学教育の課題について述べるができる。						○	

【授業の内容】

1	看護教育学の模索、看護学教育の歴史的展開
2	カリキュラムの意味、授業とカリキュラムのつながり、授業の意味
3～6	看護教育の方法（実習指導、カンファレンスの実際）、教材化の演習
7	教育の評価の意味、評価の意義、目的、経験を振り返ること（リフレクション）の意味
8	主体的学習の意味、成人学習者として看護を学ぶことの意味

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	授業終了時の授業評価シート 課題レポート	*4年間の看護についての学習を自己評価・リフレクションしながら、主体的学習の意味づけをする。 *学生が自由に意見をだし、ディスカッションできるようにワールドカフェ方式を活用する。 *成人看護学の講義や実習指導に教員の立場で参加し考える。
B：意見の表現・交換	○	発問・グループワーク ディスカッション	
C：応用志向	○	グループワーク・事例検討	
D：知識の活用・創造	○	2・3年生の講義あるいは実習への参加・グループワーク	

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	演習および課題レポートに向けての準備（4h）
事後学修	演習および課題レポートの作成・グループワーク（4h）

【教科書】 授業時に適宜提示する

【参考書】 授業時に適宜提示する

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4
授業への参加態度、演習レポート、プレゼンテーション力	30%	○	○	○	○
課題レポート	70%	○	○	○	○

【注意事項】 特になし

【備考】 編入生の受講希望がある場合などは時間割の調整に応じる

担当教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	看護教育者(教育学 修士) 看護師 大分県精神療養指導士会 会長 実習指導研究会 講師	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無		
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容	各自の受けてきた教育(経験)や看護教育の実際への参加を通して、主体的学習として看護を学ぶことの意味を振り返る。	
授業形態		